

画面で見るマニュアル

20.7型ワイド液晶ディスプレイ
EX-LD2071Tシリーズ



[【マニュアルアンケートはこちら】](#)

よりよいマニュアル作りのため
アンケートにご協力願います。



もくじ

設置する..... 3

台座を取り付ける	4
パソコンとつなぐ	5
映像機器とつなぐ	8
電源をオン/オフする	9
角度を調節する	10
ヘッドホンをつなぐ	11

設定する..... 12

設定メニューを開く	13
設定メニューの操作方法	14
表示する機器を切り替える(入力切替)	15
映像を調整する(アナログ)	16

付録..... 17

各部の名称	18
設定メニュー	20
映像調整用ソフトウェア(アナログ)	27
ネック/台座を取り外す	28
VESAアームを取り付ける	30
用語解説	31
ハードウェア仕様	32

困ったときには..... 34

設置する

設定する

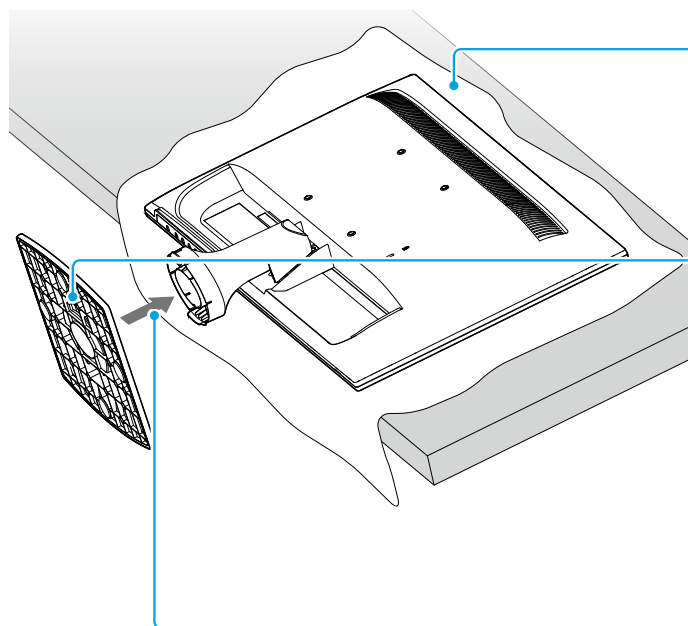
付録

困ったときには

設置する

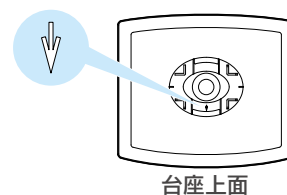
台座を取り付ける	4
パソコンとつなぐ	5
映像機器とつなぐ	8
電源をオン/オフする	9
角度を調節する	10
ヘッドホンをつなぐ	11

台座を取り付ける



① 平らなところに柔らかい布などを敷き、本製品の画面側を下にして置く

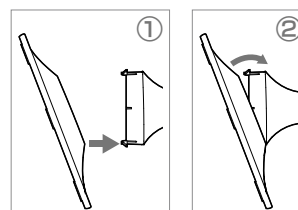
② 台座の矢印を下(本製品の前側)に向けて持つ



③ ネックの2つのツメが「カチッ」というまで、台座をネックに押し込む

取り付けのコツ

- ① ネックのツメの片方を奥まで入れる
- ② もう片方のツメを奥まで入れる
- ③ 2つのツメが「カチッ」というまで台座を押し込む



ネック／台座を取り外す方法

【ネック／台座を取り外す】(28ページ)をご覧ください。

台座取り付け時のご注意

液晶パネルが故障または破損するおそれがあります。

- 本製品を床などに落とさない
- パネルを傷つけない
- ディスプレイ部(表示面)を手で強く押さえない

パソコンとつなぐ

1 本製品とパソコンをつなぐ

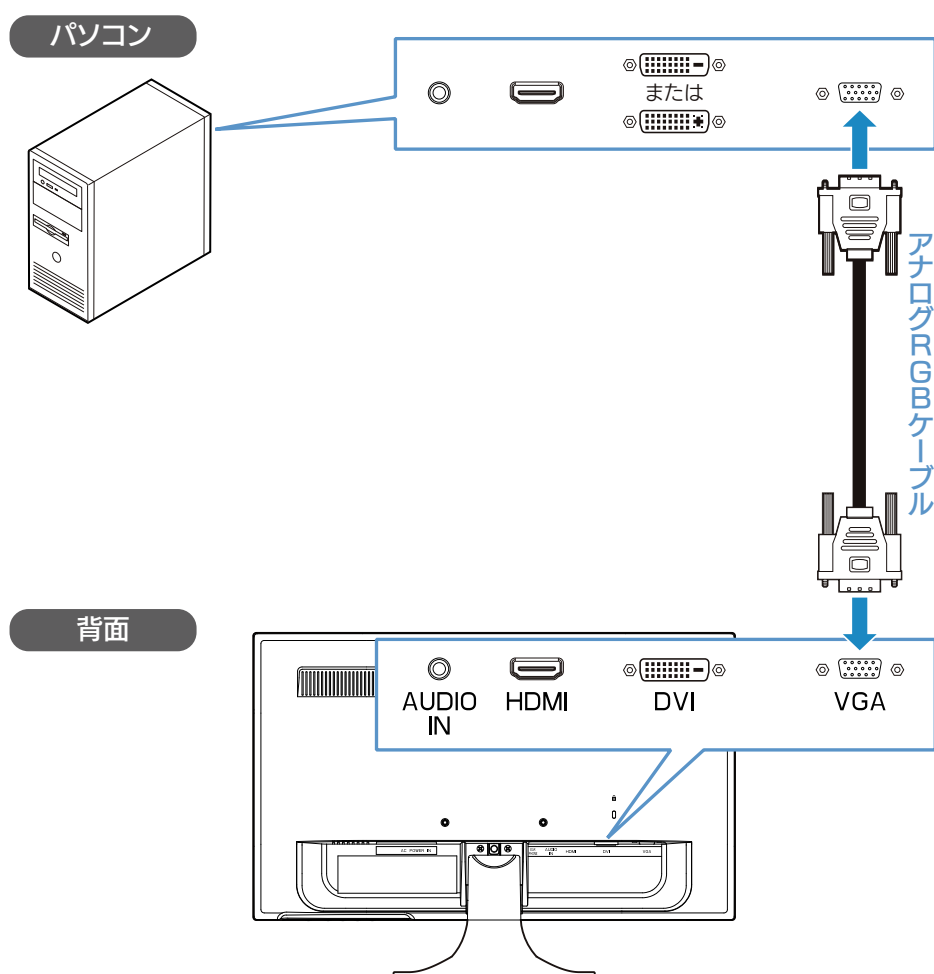
※ RGBケーブルは、ネジをしっかり締めて固定してください。

※ **別途用意**したDVI-Dケーブルでパソコンとつなぐこともできます。つなぐ際は、ネジをしっかり締めて固定してください。

※ RGBケーブル／DVI-Dケーブルでパソコンとつないだ場合、**別途用意**したオーディオケーブルをつなぐと、本製品から音声を出力できます。

※ **別途用意**したHDMIケーブルでパソコンとつなぐこともできます。

パソコンからHDMIで音声を入力できる場合は、オーディオケーブルをつなぐ必要はありません。

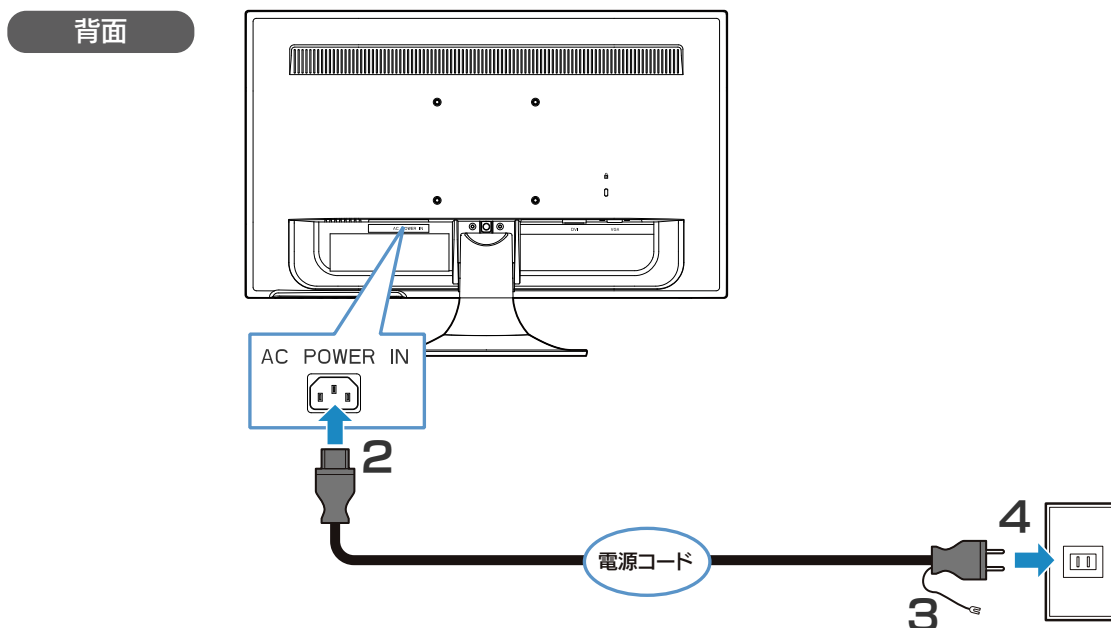


2 電源コードを本製品につなぐ

※使用中に電源コードが抜けないように、電源コードは奥までしっかりと差し込んでください。

3 アースをつなぐ

4 電源プラグをコンセントにつなぐ



ご注意：アースについては以下を守る

●必ずアースをつなぐ

アースが繋がれていない状態で万一故障した場合、感電のおそれがあります。

●電源プラグをコンセントにつなぐ前に、アースをつなぐ

●アースを外す前に、必ず電源プラグを抜く

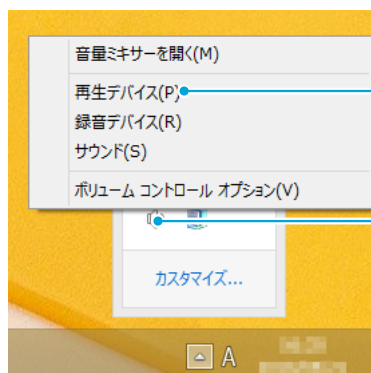
●アースをコンセントに挿入、接触させない

火災・感電の原因になります。

パソコン側の設定 (HDMI でつないだ時)

HDMIケーブルでパソコンとつないだ場合、パソコンによっては、音声の出力先を設定する必要があります。

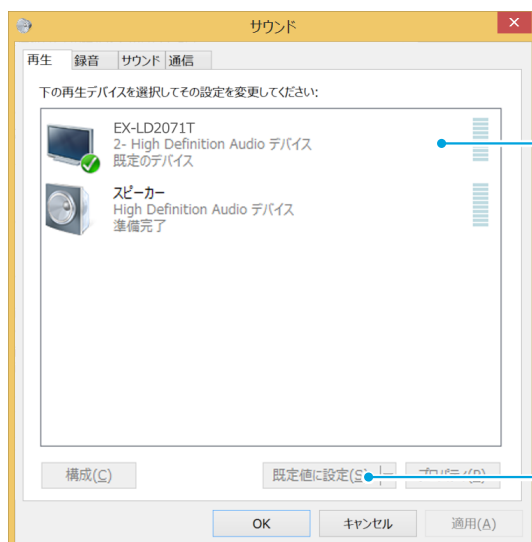
1



① 通知領域のスピーカーアイコンを右クリック

② [再生デバイス] をクリック

2



① [EX-LD2071T] を選ぶ

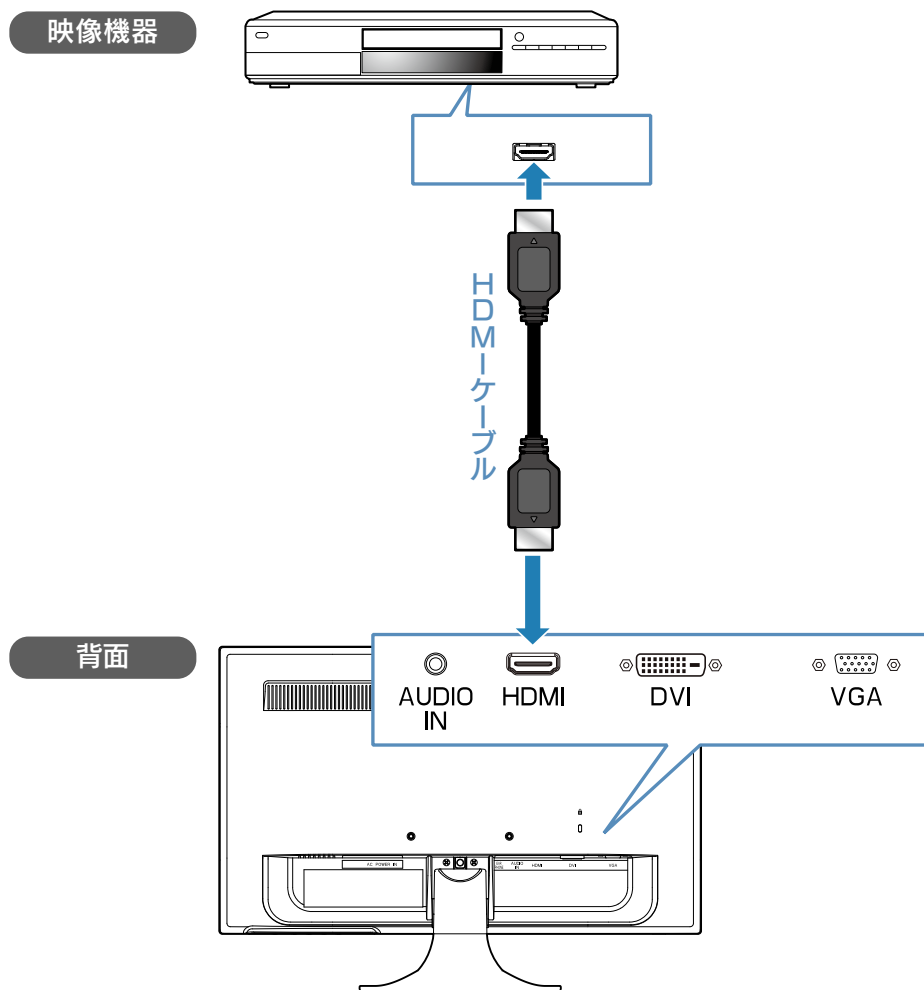
② [既定値に設定] をクリック

映像機器とつなぐ


この手順は、パソコンとつないだ後につなぐものとして案内されています

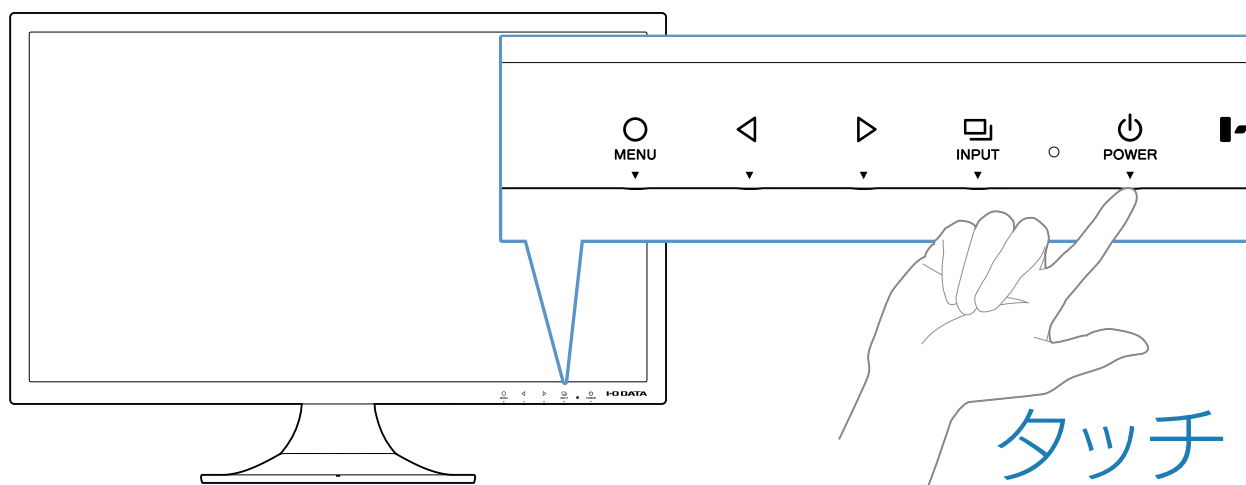
- アースやコンセントとの接続については、【パソコンとつなぐ】(5ページ)をご覧ください。

- 本製品と映像機器を、**別途用意した**HDMIケーブルでつなぐ



電源をオン/オフする

本製品の  をタッチします。



設置
の
手順

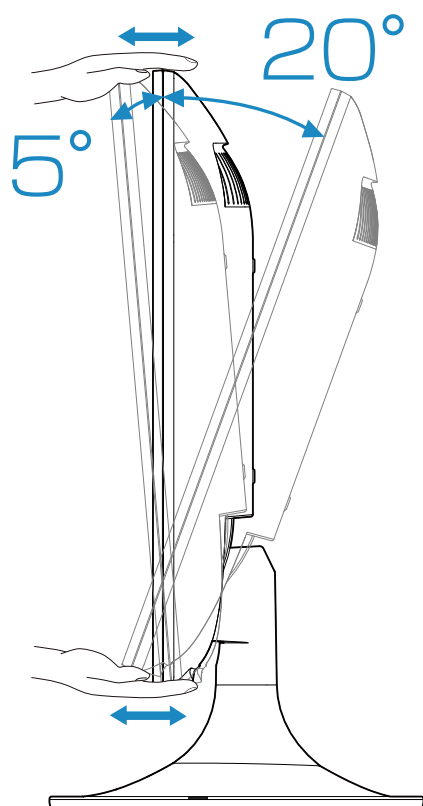
電源
の
設定

付
録

困
った
ら
は

角度を調節する

本製品のディスプレイ部は、前に5°、後ろに20°の範囲で調節してください。
調節の際は、両手でフレーム部分を持ってください。



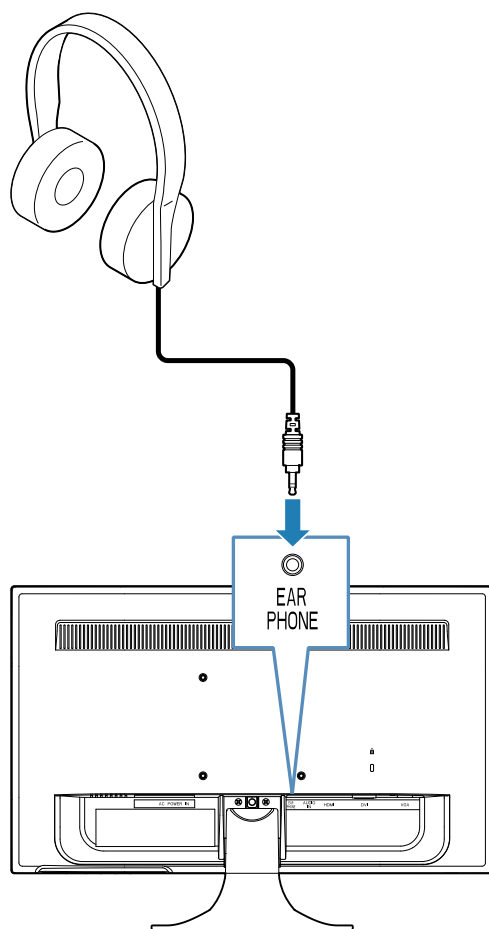
ご注意：角度の調節について

- 記載された範囲以上に倒して使わない
本製品が転倒または破損するおそれがあります。
- 調節の際は、手や指をはさまないように気をつける
- 調節の際は、ケーブルをはさまない
- 調節の際は、ケーブルや端子に無理な力が掛からないようにする
ケーブルが抜けたり、ケーブルや液晶ディスプレイが破損するおそれがあります。

ヘッドホンをつなぐ

本製品の背面にあるEAR PHONE端子にヘッドホンをつないでください。

ヘッドホン



背面

ご注意：ヘッドホンをつなぐにあたって

- **ヘッドホンを耳に付けたままつながない**
音量によっては、耳をいためる原因となります。
- **音量を上げすぎない**
大音量を長時間続けて聞くと、聴力に悪影響を与えます。

設置
の
順

設定
の
順

付
録

困
っ
た
と
き
は

設定する


設定メニューを開く	13
設定メニューの操作方法	14
表示する機器を切り替える(入力切替)	15
映像を調整する(アナログ)	16

設定メニューを開く

設定メニューとは、本製品のいろいろな設定をするためのメニューです。
通常の開き方に加え、一部機能の設定を直接開くこともできます。

【設定メニュー】 (20ページ) 参照

設定メニューを開く

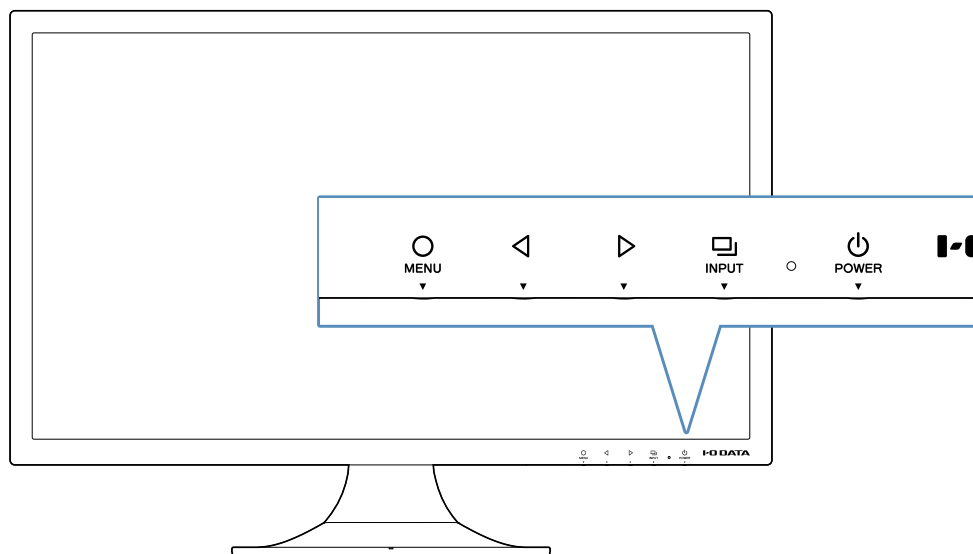
 をタッチします。

ボリューム・ブルーリダクション・輝度の設定項目を開く

◀または▶をタッチします。

設定メニューの操作方法

設定メニューの操作には、各ボタンを使います。



選択カーソルを移動する	◀▶ をタッチ
選んだ項目を決定	◻ をタッチ INPUT
キャンセル / 1つ戻る	○ をタッチ (戻れない時は設定メニューを閉じる) MENU
値を調節する	◀▶ をタッチ

表示する機器を切り替える (入力切替)

本製品に複数の機器をつないでいる場合、をタッチすると表示する機器を切り替えられます。

設置
の
手順

設定
の
手順


付
録

困
った
とき
は

映像を調整する (アナログ)

パソコンをアナログ(VGA) 入力している環境で、表示に「にじみ」や「チラツキ」がある場合にお試してください。

自動で調整する

を**3秒間**タッチし続けます。
⇒自動で映像が調整されます。

より効果的に調整するには

「LCD調整ユーティリティ」を使うと、調整用画面を表示し、効果的に調整ができます。

[【映像調整用ソフトウェア\(アナログ\)】\(27ページ\)参照](#)

手動で調整する

自動調整で状態が改善されない場合は、手動で調整することにより状況が改善することがあります。

より効果的に調整するには

「LCD調整ユーティリティ」を使うと、調整用画面を表示し、効果的に調整ができます。

[【映像調整用ソフトウェア\(アナログ\)】\(27ページ\)参照](#)

調整する内容

設定メニューの[手動調整]へと移動し、ちょうど画面内に映像が収まるように、画面の表示幅(サイズ)と表示位置(水平位置、垂直位置)を調整します。

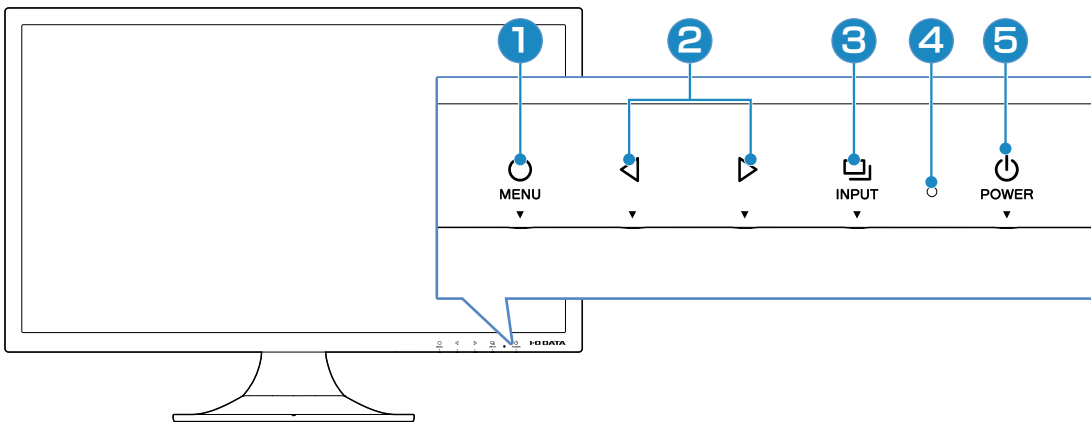
また、「微調整」で鮮明度(ノイズ除去)を調整します。







付録

各部の名称	18
設定メニュー	20
映像調整用ソフトウェア(アナログ)	27
ネック/台座を取り外す	28
VESAアームを取り付ける	30
用語解説	31
ハードウェア仕様	32

各部の名称

前面

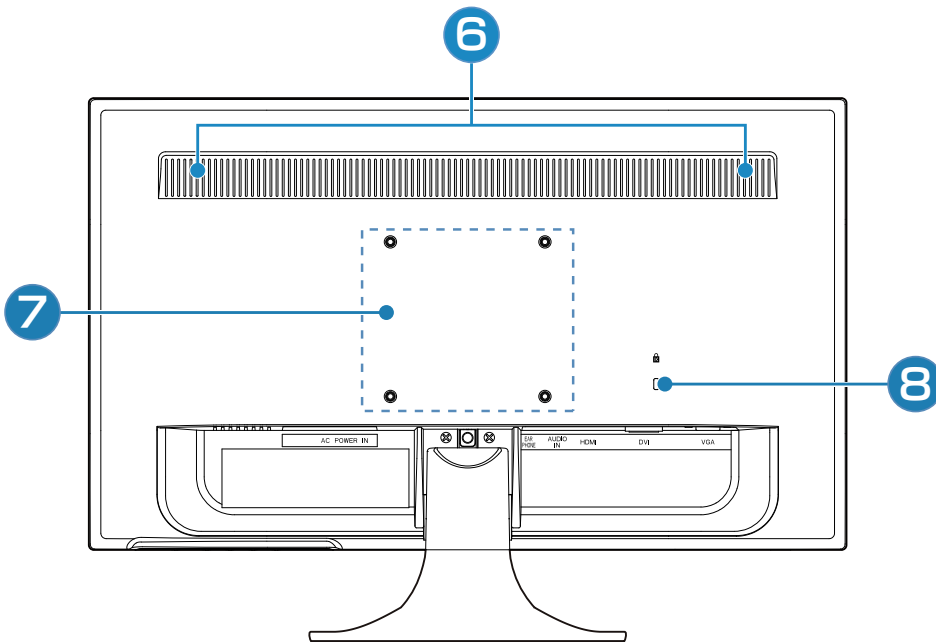


名称	通常時	設定メニュー 表示時
1  MENU	<ul style="list-style-type: none"> 設定メニューを表示します。 	設定メニューを1つ戻ります。 ※戻れない時は、設定メニューを閉じます。
2 	<ul style="list-style-type: none"> ダイレクト設定メニューを開きます。 ◀を3秒間タッチし続けると、設定メニュー表示を抑制/解除します。(ロック/ロック解除) 	設定メニュー上で、項目を選んだり、値を増減します。
3  INPUT	<ul style="list-style-type: none"> アナログ/デジタル/HDMI入力を切り替えます。 3秒間タッチし続けると、映像の位置を自動調整します。(アナログのみ) 	選んでいる項目や設定した値で決定します。
4 電源ランプ	電源 オフ 時 : 消灯 電源 オン 時 : 青色  節電状態時 : 橙色  または 消灯* ※設定メニュー内の「自動電源オフ」が[手動復帰] または [自動復帰] の場合は、一定時間信号が入力されないと消灯します。	
5  POWER	電源をオン/オフします。	

節電状態

一定時間パソコンを操作しなかったり、パソコンの電源を切った場合に、節電状態に移行/復帰します。節電状態では、画面が真暗になります。

背面



⑥	スピーカー	音声を出力します。
⑦	VESA ネジ穴	VESA アームなどを取り付けることができます。 【VESAアームを取り付ける】(30ページ) 参照
⑧	盗難防止ホール	市販のセキュリティーケーブルを取り付けることができます。

設置の準備

設置の確認

付録

困ったときは

設定メニュー

▶表示モード	20
▶アスペクト比	21
▶映像設定	22
▶メニュー設定	23
▶その他	24
▶手動調整	25
▶ダイレクト設定メニュー	26

表示モード



項目	説明
標準	標準の画面設定です。
写真	写真の編集・閲覧に適した画面設定です。
映画	DVD鑑賞、ゲームに適した画面設定です。

アスペクト比



項目	説明
固定	入力信号の解像度のアスペクト比(縦と横の比率)を保持したまま、画面の縦または横いっぱいまで拡大します。(スマートズーム)
フル	1920×1080に拡大表示します。 入力信号のアスペクト比(縦と横の比率)は保持されない場合があります。

■画面表示例

アスペクト比	4:3、5:4	16:9	
解像度の例	640×480 1280×1024	1280×720	1920×1080
固定			
フル			

※ 1920×1080以外の場合、映像の拡大処理をするため、輪郭ににじみが生じる場合があります。

映像設定



項目	説明
ECO	[オン] にすると、「輝度」が「ECOステップ」に変わります。 ※ アナログ、デジタル(DVI-D)のみ表示されます。
輝度	画面の明るさを調節します。 画面が暗い場合などに調節します。
ECOステップ	削減したい消費ワット数を基準に、画面の輝度を調節します。 ※ 「ECO」が[オン]の時だけ、「輝度」の代わりに表示されます。
コントラスト	画面の明暗比を調節します。 画面が白飛びしていたり、メリハリが欲しい場合などに調節します。
色温度	画面の色温度を設定します。 ※ 「ブルーリダクション」を[オフ]以外に設定している場合、この項目は表示されません。 ※ アナログ、デジタル(DVI-D)のみ表示されます。
sRGB	IEC(国際電気標準会議)が策定した色空間の国際標準規格に設定します。
ユーザー	赤/緑/青の各色を調節します。
色調整	画面の表示を調整します。明るさ、色合い、色の濃さ、シャープネスを調整します。 ※ HDMIのみ表示されます。 ※ 「シャープネス」は、最大解像度で表示している場合には設定できません。

設定メニュー

設定メニュー

付録

困ったときは

メニュー設定



項目	説明
表示時間	操作していないときに設定メニューが消えるまでの秒数を設定します。
透過	設定メニューの背景を透過します。
ボーダー色	以下の場合に、枠が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> ・「アスペクト比」が[固定] ・入力信号のアスペクト比が16：9以外 ・入力信号の解像度が最大解像度よりも小さい この枠の濃さを調整します。
画面情報	[オン] にすると、入力信号が変化した時、画面右上に「入力信号」「解像度」「水平／垂直周波数」を表示します。
言語	設定メニューの言語を設定します。


設置の
メニュー設定の
メニュー

付録

困ったときは

その他



項目	説明
スムージング	パソコン側で設定した解像度が、本製品の最大表示解像度より低い場合、画面上の文字がにじむことがあります。 その場合、スムージング調整をします。 ※ 最大解像度で表示している場合は、設定できません。
HDMI 優先	オン 電源をオンにした時、必ずHDMIを表示します。 オフ 電源をオンにした時、前回電源をオフにした時の入力を表示します。
自動電源オフ	本製品への映像入力が止まった場合の動作を設定します。
手動復帰	省電力モードに入り、一定時間が経過したら、電源をオフにします。 ※ 電源をオンにするためには、  をタッチします。
自動復帰	省電力モードに入る際、LEDも消灯します。 ※ 映像入力された場合、自動的に画面表示されます。
切	省電力モードに入ります。 ※ 映像入力された場合、自動的に画面表示されます。
リセット	出荷時の設定に戻します。 ※ [言語] と [色設定] - [ユーザー] の設定は、元に戻りません。

設置の
準備設定の
完了

付録

困ったときは

手動調整



項目	説明
サイズ	画面の水平幅を調整します。 ※ 垂直幅は調整できません。
微調整	画面ノイズを低減し、鮮明度を調整します。
水平位置	画面の水平方向の位置を調整します。
垂直位置	画面の垂直方向の位置を調整します。

▶映像を調整する(アナログ)

16

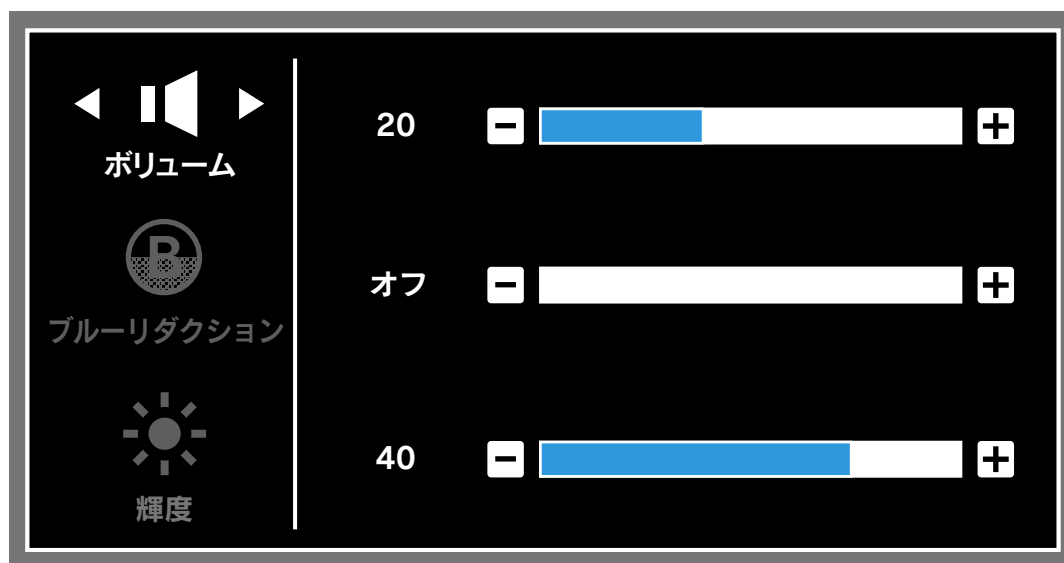
設定メニュー

設定メニュー

付録

困ったときは

ダイレクト設定メニュー



項目	説明
ボリューム	音量を調節します。
ブルーリダクション	画面から出るブルーライトを低減する度合いを調節します。
輝度	画面の輝度を調節します。
ECOステップ	削減したい消費ワット数を基準に、画面の輝度を調節します。 ※「ECO」が[オン]の時だけ、「輝度」の代わりに表示されます。

設定メニュー

設定メニュー

付録

困ったときは

映像調整用ソフトウェア (アナログ)

「LCD調整ユーティリティ」を使うと【映像を調整する(アナログ)】(16ページ)をより効果的にこなうことができます。

映像調整は、アナログ入力時のみ有効です

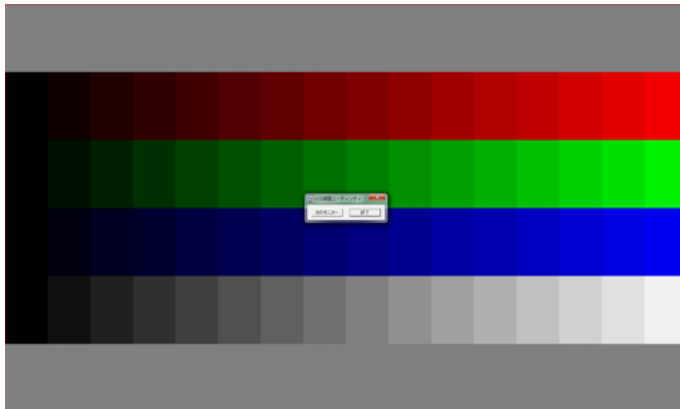
DVI (デジタル) で入力した場合は設定の必要はありません。

ダウンロードする

- 1 以下の弊社ホームページを開く
<http://www.iodata.jp/r/4157>
- 2 ご利用のOSを選んで、ダウンロードする

実行する

- 1 ダウンロードした「LCDTOOL.EXE」ファイルをダブルクリック
⇒以下の画面が表示されます



- 2 本製品上に画面を表示する
※ マルチディスプレイ環境の場合、[次のモニター] をクリックできます。
本製品上に手順1で表示させた画面を表示してください。
- 3 【映像を調整する(アナログ)】(16ページ)をする

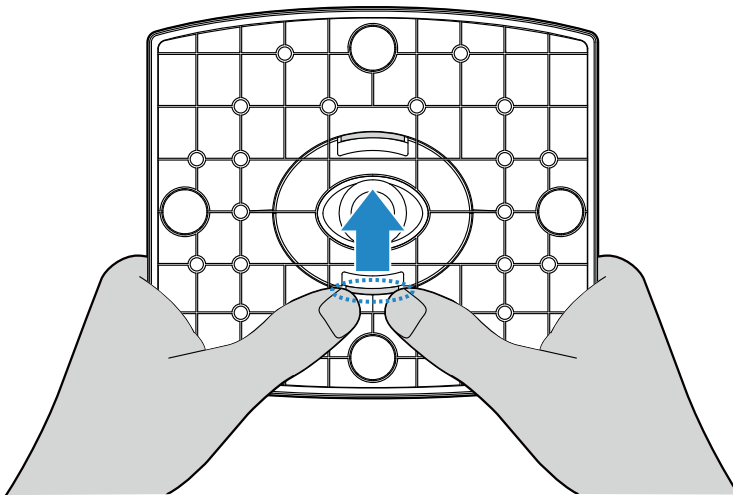
ネック／台座を取り外す

必要に応じてネック／台座を取り外すことができます。

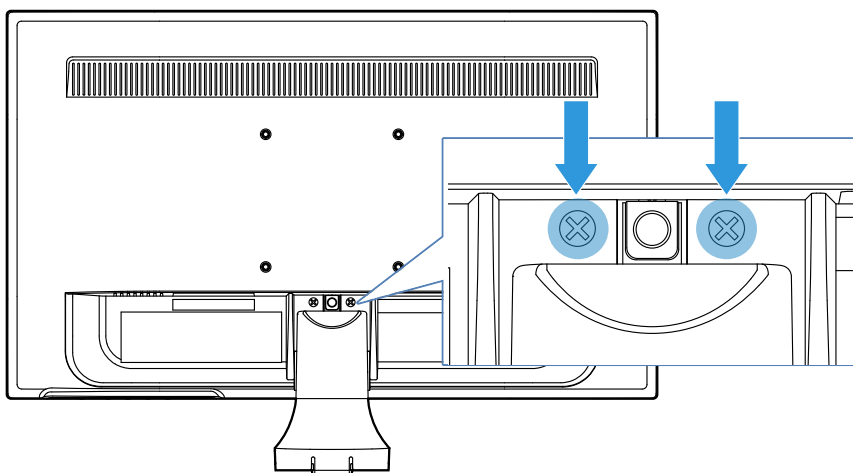
ご注意：取り付けの際は、以下に注意する

- 手や指をはさまない
- 液晶ディスプレイを床などに落としたり、パネルを傷つけない
- ディスプレイ部(表示面)を手で強く押さない
液晶パネルが故障または破損するおそれがあります。

- 1 机などの平らなところに柔らかい布などを敷き、本製品の画面側を下にして置く
- 2 両手で台座を持ち、下側のツメを両手の親指で押し上げて外す



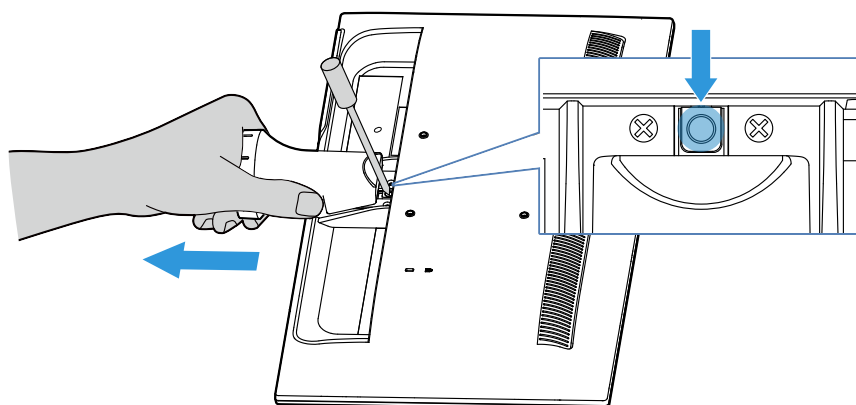
- 3 ネックを留めているネジ2本を外す



外したネジを取る

ピンセットやマグネット付きドライバーをお使いください。

4 ネジ穴の間にあるボタンを棒状のもので押しながら、ネックを引き抜く



ご注意：取り外したネジ・台座・ネックについて

- **再びネックを付ける際は、ネジをしっかりと締める**
取り外したネジ・台座・ネックは別途袋などに入れ、大切に保管してください。
取り付け方法については、この手順【[ネック／台座を取り外す](#)】(28ページ)を参考にしてください。
- **ネックを取り外したまま、ネック固定用のネジを戻さない**
故障の原因となります。

VESA アームを取り付ける

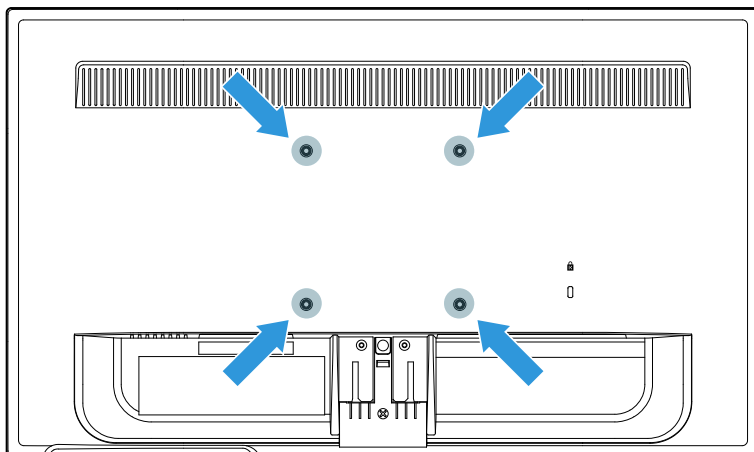
VESA規格に準拠した市販のアームなどの固定器具を取り付けることができます。
アームやアーム取り付け用ネジは別途ご用意ください。

ご注意：取り付けの際は、以下に注意する

- 手や指をはさまない
- 液晶ディスプレイを床などに落としたり、パネルを傷つけない
- ディスプレイ部(表示面)を手で強く押さない
液晶パネルが故障または破損するおそれがあります。

1 ネック/台座を取り外す(28ページ)

2 4か所のネジ穴を利用して、別途用意した固定器具を取り付ける



固定器具について

- 固定器具は本製品の質量に耐えられる100mmピッチのものをご用意ください。
本製品の台座を除いた質量については、【ハードウェア仕様】(32ページ)をご覧ください。
- 固定用のネジは、「M4×10mm」のものをご用意ください。
- 取り付け方法については、固定器具の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意：固定器具の取り付けについて

80~100N・cm(8~10kgf・cm)の締付けトルクで、ネジを締めてください。

用語解説

液晶ディスプレイに関する一般的な用語を解説します。

用語	解説
DPM	「Display Power Management」の略。 VESA (Video Electronics Standards Association) が策定した、ディスプレイの節電機構をパソコン本体側から制御するための規格。省電力機能は、ディスプレイの水平/垂直同期信号を制御することで省電力モードに入ったり復帰したりします。
OSD	「On Screen Display」の略。 ディスプレイの設定画面を画面の一部に表示して操作する機能。 本製品では、OSDを使っていろいろな設定をおこなうことができます。
sRGB	液晶ディスプレイやパソコンでは[RGB]、プリンターなどのカラー印刷では[CMYK]という方式でそれぞれ色を表現していますが、色によっては両者で違って見えることがあります。このような問題に対処するため、両者での色がほぼ同じになるような方式として考案された国際規格です。 [sRGB] 設定は6500K相当です。
TFT 液晶	「Thin Film Transistor」の略。アクティブ・マトリックス型液晶の一種。 液晶画面の各ドットは、薄膜トランジスタ(TFT)で制御します。 現状、他の液晶技術(STN,DSTNなど)に比べ、品質面では最も優れています。
色温度	9300Kの発色は鮮やかですがやや青白く感じられます。 6500Kは昼光色とも呼ばれ自然な白色が表現できる設定となります。 7200Kはこれらの中間の設定となります。
スケーリング	液晶パネルは最適に表示できる解像度が決まっています(表示に最適な解像度は【ハードウェア仕様】内の【●各接続端子の最大解像度】(33ページ)の項目を参照してください)。 パソコンから入力される映像信号が表示に最適な解像度でない場合、画像を液晶画面全体に表示させるために、液晶ディスプレイによって拡大処理(スケーリング)がおこなわれます。スケーリングがおこなわれることにより、画面に表示されている映像の輪郭が、かくばったりぼやけたりして見えます(スケーリングがおこなわれていないと、液晶画面全体に画像が表示されません)。
スムージング	スケーリングによって発生する、輪郭のギザギザを、なめらかに表示するための設定です。
ドット	文字や図形を表現する基本単位となる点のこと。ピクセルとも呼ばれます。 パソコンで扱う文字や図形は、このドットの集まりで表現されます。
フリッカーレス	LEDバックライトの点滅・チラツキ(フリッカー)をなくすための技術です。 従来の一般的な液晶ディスプレイでは、LEDバックライトの輝度を調節するために、LED自体を高速に点滅させています。 それに引き換え、「フリッカーレス」では、LEDを高速に点滅させずに輝度を調節しています。 画面のチラツキを感じさせず、長時間使用による目への負担を軽減するとされています。

設置手順

設定手順

付録

困ったときは

ハードウェア仕様

ハードウェア仕様

液晶パネル	パネルタイプ	TFT20.7型ワイドLED / 非光沢パネル
	最大表示解像度	1920 × 1080
	画素ピッチ (mm × mm)	0.2385(H) × 0.2385(V)
	表示面積 (mm × mm)	457.92(H) × 257.58(V)
	最大表示色	1677万色
	視野角度	上下:160° 左右:170°
	最大輝度	250cd/m ²
	コントラスト	1000:1
	応答速度	5ms
水平走査周波数 (kHz)		24.8 ~ 80.0kHz
垂直走査周波数 (Hz)		56.3 ~ 75.0Hz
映像入力端子		HDMI、アナログRGB、DVI-D (HDCP対応)
音声入出力	音声入力	ステレオミニジャック φ 3.5
	スピーカー	1W+1W(ステレオ)
	フォン端子	ステレオミニジャック φ 3.5
定格電圧		AC100V 50/60Hz
消費電力	最大時	27W
	通常使用時(オンモード)	18.3W
	待機時	0.4W
パワーマネージメント		VESA DPM互換
プラグ&プレイ		VESA DDC2B
チルト角/スイベル角		上:20° 下:5° / -
高さ調節		-
VESA マウントインターフェイス		○(100mmピッチ)
盗難防止用ホール		○
外形寸法 (W × D × H)	台座あり	490 × 178 × 352(mm)
	台座なし	490 × 48 × 292(mm)
質量	台座あり	3.0kg
	台座なし	2.7kg
使用温度条件		動作時: 0°C ~ 40°C
使用湿度条件		20% ~ 80% (結露なきこと)
各種取得規格・法規制		VCCI Class B、UL、J-Mossグリーンマーク、RoHS指令準拠、国際エネルギースタープログラム、グリーン購入法、電安法

※外観および仕様は、改善のため予告なく変更することがあります。

表示面上に減点（点灯しない点）や輝点（点灯したままの点）がある場合があります

これは、液晶パネル自体が99.999%以上の有効画素と0.001%未満の画素欠けや輝点をもつことによるものです。

故障あるいは不良ではありません。修理交換の対象とはなりませんので、予めご了承ください。

設置の
手順設置の
手順

付録

困ったときは

解像度および周波数

●信号タイミング

つなぐパソコンが表示モードに対応しているかご確認ください。

対応パソコン	表示モード	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (kHz)	アナログ	デジタル	
PC-9800シリーズ	640×400	24.8	56.4	○	-	
Apple Mac	Windows 搭載パソコン	720×400	31.5	70.1	○	○
		640×480	31.5	59.9	○	○
			37.9	72.8	○	○
	800×600	37.5	75.0	○	○	
		35.2	56.3	○	○	
		37.9	60.3	○	○	
	1024×768	46.9	75.0	○	○	
		48.1	72.2	○	○	
		48.4	60.0	○	○	
	1280×720	56.5	70.1	○	○	
		60.0	75.0	○	○	
	1280×1024	45.0	60.0	○	○	
		64.0	60.0	○	○	
	1440×900	80.0	75.0	○	○	
		55.5	59.9	○	○	
1920×1080	55.9	59.9	○	○		
	67.5	60.0	○	○		
	640×480	35.0	66.7	○	-	
	832×624	49.7	74.5	○	-	
	1024×768	60.2	74.9	○	-	

※ パソコンからの信号はすべてノンインタレースである必要があります。

※ Macでアナログ接続ケーブルを使う場合は、別途市販の変換アダプターが必要になる場合があります。

※ コンポジットシンク、シンクオングリーンには対応しておりません。

●各接続端子の最大解像度

接続端子	HDMI	アナログRGB	DVI-D
最大解像度	1920×1080 (60Hz)	1920×1080 (60Hz)	1920×1080 (60Hz)

困ったときには

パソコンをアナログ(VGA) でつないでいるが、「ゆらぎ」や「チラツキ」が見える

[【映像を調整する\(アナログ\)】\(16ページ\)](#) をご覧になり、「自動調整」や「手動調整」をお試しください。

その際、「LCD調整ユーティリティ」をお使いになることをおすすめいたします。

文字がにじんで見える

ご利用用途に差し支えない限り、液晶ディスプレイの最大表示解像度([【ハードウェア仕様】\(32ページ\)](#))でご確認ください) に応じた数値で、パソコン側の設定をおこなうことを、強くおすすめいたします。これにより、文字のにじみを軽減することができます。

にじみの原因

パソコン側で設定している解像度が、液晶ディスプレイの最大表示解像度よりも低い場合、文字が拡大して表示されます。拡大されることで、文字がにじんで見えることがあります。特に縦横比が異なる場合、にじみが顕著になります。

スピーカーから音が出ない

- パソコンをHDMIでつないでいる場合
パソコン側で音声の出力先を設定する必要がある場合があります。
[【パソコン側の設定\(HDMIでつないだ時\)】\(7ページ\)](#) 参照
- パソコンをVGA/DVIでつないでいる場合
パソコンの音声出力と本製品のAUDIO INをオーディオケーブルでつないでください。
- 全般
 - 機器側の音量設定を確認してください。
 - ヘッドホンをつないでいると、スピーカーから音が出ません。

台座、ネック(足) を取り外したい VESA 金具を取り付けたい

[【ネック/台座を取り外す】\(28ページ\)](#)、[【VESAアームを取り付ける】\(30ページ\)](#) をご覧ください。

アフターサービス

本製品の修理対応、電話やメール等によるサポート対応、ソフトウェアのアップデート対応、本製品がサーバー等のサービスを利用する場合、そのサービスについては、弊社が本製品の生産を完了してから5年間を目途に終了とさせていただきます。ただし状況により、5年以前に各対応を終了する場合があります。

お問い合わせについて

お問い合わせいただく前に、**以下をご確認ください**

- [困ったときには\(34ページ\)](#) を参照
- サポートページのQ&Aを参照
- 最新のソフトウェアをダウンロード

<http://www.iodata.jp/r/4914>



それでも解決できない場合は、**サポートセンターへ**

電話：050-3116-3019

※受付時間 9：00～17：00 月～金曜日(祝祭日をのぞく)

FAX：076-260-3360

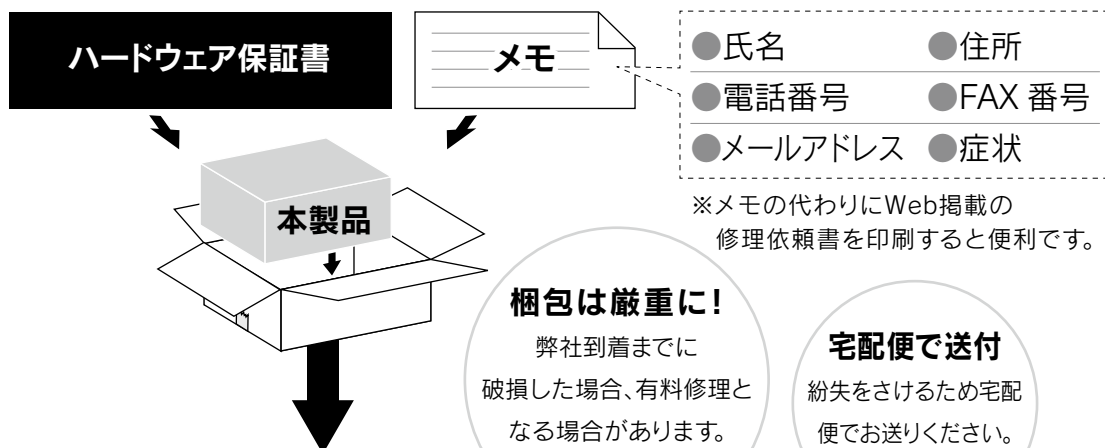
インターネット：<http://www.iodata.jp/support/>

＜ご用意いただく情報＞

製品情報(製品名、シリアル番号など)、パソコンや接続機器の情報(型番、OSなど)

修理について

修理を依頼される場合は、以下の要領でお送りください。



〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
株式会社 アイ・オー・データ機器 修理センター 宛

- 送料は、発送時はおお客様ご負担、返送時は弊社負担です。
- 有料修理となった場合は先に見積をご案内します。(見積無料) 金額のご了承をいただいてから、修理をおこないます。
- 内部にデータがある場合、厳密な検査のため、内部データは消去されま
す。何卒、ご了承ください。
バックアップ可能な場合は、お送りいただく前にバックアップしてくださ
い。弊社修理センターではデータの修復はおこなっておりません。
- お客様が貼られたシール等は、修理時に失われる場合があります。
- 保証内容については、ハードウェア保証規定に記載されています。
- 修理品を送る前に製品名とシリアル番号 (S/N) を控えてください。

修理について詳しくは以下をご確認ください

<http://www.iodata.jp/support/after/>



個人情報の取り扱いについて

個人情報は、株式会社アイ・オー・データ機器のプライバシー
ポリシー (<http://www.iodata.jp/privacy.htm>) に
基づき、適切な管理と運用をおこないます。



設置する

設定する

付録

困ったときは